

## 令和6年度第5回 鹿島区地域協議会 会議録

<地域協議会の日時・場所>

1. 日 時:令和6年8月22日(木)  
午後1時30分～午後2時30分
2. 場 所:鹿島区役所 2階大会議室

### 【 会 議 録 】

#### 1 開 会

##### ○事務局

地域協議会成立要件の確認

委員数 15 名

【出席委員数】 13 名

草野繁春、草野禎夫、高野邦弘、太田真樹子、服部隆男、大谷和年  
豊田真由美、高橋昭一、鈴木清教、大河内俊樹、今野 愛、鎌田博信、長澤初男

【欠席委員数】 2 名

北元幸一、森 泉

上記のとおり、委員の過半数の出席のため成立していることを確認します。

#### 2 会長あいさつ

高野会長よりあいさつ

#### 3 区役所長あいさつ

#### 4 会議録署名人の指名

高野会長が会議録署名人に鎌田博信委員と 長澤初男委員を指名した。

## 5 議事

### (1) 報告事項

南相馬市特別用途地区の決定(素案)に係るパブリックコメント手続の  
実施について

- 高野会長 南相馬市特別用途地区の決定(素案)に係るパブリックコメント手続の  
実施について担当課より説明をお願いします。

◀ 都市計画課 資料1 により説明 ▶

- 高野会長 それではただいまの説明につきまして、質疑に入ります。質問のある方は  
挙手の上、発言をお願いいたします。はい、草野委員お願いします。

- 草野委員 初めに1ページなんですけど、中間辺にあるしかし第1種住居地域では、作  
業上の床面積が50平方メートル以下となっておりますけど、50平方メートル以下で間  
違いないですか。50平方メートルでは17坪ぐらいなんです。こんなもんですか。こ  
の数字ちょっと気になったもんですから。

- 都市計画課 このとおりで間違いないです。第1種住居地域につきましては50平方メ  
ートル以下というのが基準になってます。

- 草野委員 はい、わかりました。あとはですね、この用途地域の変更で小高区におい  
ては、三回も国のほうに要請しながら、かなり着実に進めているっていうふうなことを  
感じました。そういう中で行政と地域協議会が一体となって、地域協議会として進  
行していくかということ、本当に取り組んでいると実感してます。本当に今までの  
行動に関しては非常に賛同しますし、これはすごいことだなと感じます。そういう思  
いの中でなんですけど、やはりどうしても鹿島区の協議会なもんですから、この地  
域はどうなっているんだろうと、そういうふうな思いも正直するんです。小高区にお  
いてはその中心市街地再生事業ですか、これで20億ぐらい予算が付くんですよ。ね。  
数字ちょっと間違っているかもしれませんが。ましてや6号線沿いには、小高区の  
工業団地、これも今造成しているように伺ってます。さまざまな未来を創るましてや  
新聞紙上にもこの地域協議会がまた新たに参加したと報道が載っておりました。ま  
さしくその地域一体挙げて、その地域の未来をつくり上げるなっていうふうな思いを

しています。そういう面では敬意を表してますし賛同したいと思います。

ただ、鹿島区の地域協議会、これも非常にこの地域に対して思いが強いですが、その中でどのようにやっていくんだらうという気持ちもあります。どうしても新聞紙上にも、この3区のバランスがよくないみたいな、新聞といいますか、ある議員の報道ですけど。かなりばらにまいてますから。バランスがよくないんじゃないかという意見も事実なんです。ですから八沢小学校跡地の再利用とか、あとセデッテかしまの周辺整備ですね、それと牛島開発の復興公営的な話もありましたけど、全然まだ見えてきてないというのが現状なんです。私たちもその地域の住民としては、そういう具体的なものがそろそろ見えてもいいんじゃないかなとかかかっています。実際八沢小学校跡地には、意見的には陸上養殖施設要する海産物の陸上養殖をしてもいいんじゃないかとか、それからさまざまな意見があることは事実なんです。

昨年度の地域協議会では、牛島に関しては、オリーブの木1万本ぐらい植えたらどうだろうがとする話も出ました。今、何の動きはありません。決して意見を全然言っていないわけじゃないんです。そういうのを取り上げるか取り上げないか行政のほうの姿勢かなと感じています。その中でも一生懸命やってると思います。ただ、私たち住民にとっては、この地域が今後どうなっていくのか。心配なのが、人口がやっぱり減る傾向性っていうのは間違いなく見えています。この地域も今9,700人しかいないと聞きました。震災前は1万1,000人いました。ですからその辺の減少が非常に激しいです。それを考えてみますと、今なんかしら手を施さなければ、ますます衰退していくんじゃないかとそういう危惧を持っています。

話が長くなりましたけど、本当に小高区の提案が、こういう要因に関しては非常に賛同いたしますし、地域発展につながるものだと思います。そういう中で実は相談を受けたんですけど、鹿島区に玉子屋さんがあるんです。実は商工会の前副会長がやってみて、相談を受けました。周りの近隣の土地が地震とか、さまざまな要素で空いてるらしくて、買ってほしいみたいな話がありました。ところがある程度工場とか、倉庫を作るにしても、あの場所だと作れないそうです。その用途地域のためだと思うんです。今鹿島地域の中心市街地にも、歯抜け状態になっている空地がいっぱい見受けられます。小高区に見習ってじゃないですけど、企業が入ってこられるような場所にしてもいいんじゃないかという相談がありました。ある意味ではそこまでの地域の指定がないとますます衰退していくという心配がありますから、小高区と同じような今後の動きがこの鹿島区においてはできるかどうか。これを伺いたいと思います。

○高野会長 草野委員のほうからいろいろとお話がありました。草野委員もう少し絞っていただければと思います。それではこの中で回答のほうお願いいたします。

○都市計画課 今いろいろご意見いただきました。小高区につきましては、今回用途地域の変更並びに今回提案した特別用途地区について、これを進める思いの1番はやはり震災による避難という部分であります。それによって町中の空洞化がものすご

く顕著であります。空き家問題、空き地問題、あとは、この地区、今動き出しています。いろいろなことで、お金の話はまた別であります、民間含めてですね、行政も力を入れてますが、民間も新たな起業者があるなど、そういうステージとして今回こういう提案をさせていただいたということでもあります。小高区が先行しているということ小高をなんとかしたいという思いで、こういうことを今やっていたということで、まずそれは前置きになります。

次に鹿島区の中で、八沢小や駅周辺、牛島、サービスエリアとかいろいろあると思います。それについても皆さんご存じだと思いますが、いろいろな動き、これは都市計画課でお答えするべきなのか、地域振興課のほうになるのかもしれませんが、いろいろなことを、3区のバランスということもありますけれども、市全体の中で、これは取り組んでいかなければいけない課題として、今動き出しています。詳細な中身については、我々都市計画課ではお答えできない部分もありますので、そちらの回答は控えさせていただきたいと思います。

あとは用途地域の関係であります。鹿島区について用途地域の変更ができないのかという部分につきましては、技術的には用途地域の変更は可能です。但し用途地域の変更については、それに至る前段の経緯を非常に精査していかなければいけない。今回の小高区の用途地域の変更につきましても、約2年前から動き出してようやくこの段階まで持ってきたところもございます。いろいろな住民の意見を聞いたり、要するに、用途地域の変更する前段として、いろいろな意見を聞いたり、実際に住んでる方の意見も聞いたり、実際の中で工場を営んでいる方の意見を聞いたりしながら、総合的に判断していかなければいけないと思っております。なので、鹿島区を当然否定はしませんし、用途地域の変更ができないという話もいたしません、現時点で、先ほどの内部の企業さんの話も、実はうちのほうでも聞いております。周りの皆さんの意見も、今後、勉強していかなければいけませんし、今後の市の空き家、空き地の動向関係も見据えながら、その土地の利用、まちづくりの形態を見据えながら次の段階で検討していくべきだと考えております。今即答できる用途地域の変更いつごろになればできますということは、現時点では申し上げることはできません。以上です。

○高野会長 草野委員、よろしいですか。

○草野委員 そういう面で20キロ圏内と30キロ圏内では全然その何ていうんでしょうね。国でも持っていき方が違う、そういうような話だと思います。確かに小高区においては小高ワーカーズベースの和田さんあの方が非常に真剣になって、言っていました。動いてました。、実際は100人の企業、これを目指して約100の会社をつくらみたい、そういうふうな地域にとって非常にすばらしい案を出しています。それに関して非常に前向きに進んでますし、事業そのものも浮いているように思って非常にすばらしいと思うんです。

ただいかんせん私が住んでるのは鹿島区なもんですから、これに対しての思いですね。その辺はやはり行政のほうでもきちっと受けとめていただければと思います。ますます不満感といいますか、バランスがよくないんじゃないかみたいな、そういうことが言われてます。意見要望としてお願いしたいと思います。

- 高野会長 それでは、意見要望ということで、これに関してはよろしいですか、
- 都市計画課 先ほどお話ありましたように小高ワーカーズベースさんが頑張ってるというのがあります。いろいろですね、都市計画課、あるいは建築等に、いろいろな相談、新たな企業立地の話、個人企業とかベンチャーとか、そのときもですね、小高区だけではなくて、当然、原町区、鹿島区、南相馬市内に来てほしいという思いから、ほかの地区の提案もあわせながら、小高区だけということではございませんので、今のご意見は頭にしっかり入れて対応しているつもりですし、今後対応していきたいと思っております。以上です。
- 高野会長 ほかに皆さんからご発言がないですか。鈴木委員お願いします。
- 鈴木委員 原動機の出力20キロワット以下というふうになってますけども、原動機は単相も二相も三相もあるはずですよ。この合計を20キロワットと言ってるんですか。
- 高野会長 担当課、お願いします。
- 都市計画課 工場を新たにつくるあるいは機械を入れるときに、確認申請書というのが伴うんですが、その中で、単相とかそういうのを関係なくキロワットの表示で出してもらって、それを見ながら審査をしますので、審査の許可権は特定行政庁である県のほうになるんですけども、その中で計算あらゆる機械の合算をして、20キロワットを計算します。
- 鈴木委員 空調関係の原動機はどうですか。
- 高野会長 担当課、お願いします。
- 都市計画課 通常の空調、空調機械、こういうのは合計しません。あくまで工場の中で使う作業用の機械の合計の出力になります。
- 鈴木委員 あくまでも作業機だということですか。
- 高野会長 鈴木委員よろしいですね。ほかに皆さんからご発言ないですか。はい、そ

れでは発言がないようですので、本案件につきましては異議がないものといたします。はい、ありがとうございました。

## (2) その他

○高野会長 それでは次に進みます。その他に入ります。藤原課長お願いします。

○鹿島区活性化担当課長 活性化担当から、現状の報告をさせていただきたいと思えます。初めに南相馬鹿島サービスエリア周辺開発の検討でございますけれども、前回ご報告したとおり、本日まで出席の大谷副会長を初めとしまして、サービスエリア周辺開発検討委員会の委員7名参加のもとで、サービスエリア周辺開発の検討に生かすために、東京埼玉方面に先進地視察へ行ってきました。7月29日には埼玉県川口市の川口ハイウェイオアシスを視察してまいりましたところでございます。このハイウェイオアシスについては2022年に開業した首都高の初めてのハイウェイオアシスでありまして、地元の川口市が火葬場に隣接する形で、公園を整備するに当たり、公園ともともとあった川口パーキングエリア等をつなげて、両施設の利用促進を図ることを目的に誕生したエリアということでございます。このエリアでは川口市、行政と民間である首都高速道路株式会社によるいわゆる官民連携で整備管理運営されているエリアでありまして、私ども、南相馬市としましても、同様の手法による開発を目指しておりますので、大変参考となったところでございます。

翌7月30日に、東京都世田谷区のポーナストラックという場所を視察してまいりました。こちらについては前回ちょっとお話ししましたが、東京を走ってます私鉄の小田急線、線路がもともとあった場所の線路を地下に潜らせて、その空いた土地に下北線路街という、新しい商店街をつくったという事例でございます。こちらの視察におきましては入居する事業者との関係性や景観の問題、あるいは近隣住民との関係などについて、学んできたところでございます。先ほど草野委員のほうからもなかなか具体的な絵が見えてこないといったご指摘をいただいたところでございますけれども、今回の視察結果を踏まえまして、次回の検討委員会、10月を予定しておりますが、その前後には基本計画の中間報告的なものが、地域協議会のほうにもお示しできるかと思っておりますので、もうしばらくお待ちいただければと思います。

昨年度までは、言葉を選ばずに言えば、いわゆる単なる検討段階という状況でありましたけれども、今年度につきましては3月までに、基本計画という形にしますので、そういう意味では具体化した姿というか、我々の考えているところをしっかりと皆さんにお示しできると思っておりますので、もうしばらくお待ちいただければと思います。

続きましてJR鹿島駅の駅舎改修に係る検討についてでございます。こちらについては、前回より特に大きな動きはないところでありますけれども、今後の動きについてご紹介したいと思っております。市として現在の駅舎の継続活用を検討するに当たりまして、現在の駅舎が建物としてどれだけの強度を維持しているのか、継続して利用

することは可能なのか、継続して利用するためにどれだけの補強が必要なのか、あるいは、継続活用が無理ということで建てかえをとした場合、耐震補強と比較してどのようなメリットデメリットがあるのかといった点を調査する必要があるものと考えています。そちらについては準備が整い次第、必要な調査を行ってまいりたいというふうに考えております。その上で市としての、駅周辺の整備方針というのも年度内に取りまとめたいと考えておりますので、地域協議会の皆様には引き続き本件についてもご意見をいただければというふうに思っております。本日のところは以上でございます。

○高野会長 ありがとうございます。次第にはありませんけれどもこの件についてご質問等ございませんか。草野委員、お願いします。

○草野委員 本当に水面では、私どももこの地域が進行していった欲しいと思ってるのは皆さんと同じ考えですので、その辺早目にいろいろな流れをつくっていただければと思います。若干違いますけど、1番は人口が減っていくってことはこの地域そのものの存続が危ぶまれていくってことだと捉えています。といいますのは、やはり消費でも何でも若い人たちがいないと、消費行動というのは少ないんです。残念ながら私どもも商売やっているから感じることは、高齢者っていうのは消費行動が非常に少なくなっております。ですから、ある意味ではどんな職種においても若い人が育たないと、本当にその地域そのものの振興というのは成り立っていかないんじゃないかと思えます。そういう面では、やはり先ほど言った用途地域変更、小高区でしたってことは、若い人を呼び込むための一つの施策だと思うんです。当地域においても、若い人を呼び込むような、こういう計画をしていかないと本当にますます時の流れがあまりにも早いんですから、ある意味ではもう、正直なことで私どもこの時代についていけないというか今の消費行動でも価値観でも大分違ってきているような気がします。今はスマホがあれば何でもできる時代になってますから、既存の商店がいらなくなってきている時代なんです。そういう中でも、新たなものを早めにやっていただかないと、遅くなってしまうというような、そういう不安がありましたので、ちょっと意見を述べさせていただきました。以上です。

○高野会長 鹿島区活性化担当課長 お願いします。

○鹿島区活性化担当課長 ご意見ありがとうございます。南相馬市では震災以降、いわゆる生産年齢人口、具体的に言うと15歳から64歳という、地域に活力を生み出す世代というところなんですけど、そちらが減少したということで、そちらを戻して、さらに増していくというところが、一つ大きな課題としてあると思っております。現在の総合計画の中でも、重要な課題として位置づけられているところであります。その課題解決策として、今回のサービスエリア周辺開発というのは、間違いなく上位に位置づ

けられているものだというふうに思っております。今回の事業をうまく軌道に乗せることで、我々が目指しているところとしては、高速道路ができて言ってみればその地域の人たちが、例えば仙台圏のほうに、引っ張られちゃうというような状況に今あると思っているんですけれども、逆に仙台圏の方にこちらに来ていただけるような、そんな場所ができるのではないかというふうに我々考えながら、今事業に取り組んでいるところです。実際に案ができた時にまたいろいろご意見をいただければというふうに思っておりますけれども、今我々はそういうところを目指して取り組んでいるところでございます。以上です。

○高野会長 大谷副会長、お願いします。

○大谷副会長 周辺開発検討委員会のメンバーに私が入ってまして、川口と小田急に行ってきました。私の感想からいって川口のサービスエリアは、サービスエリアと公園が一体となっているんです。散歩道があってもう一つには、屋内の子供たちの遊び場があるんです。小高区にある遊び場よりも結構子供たちがいっぱいいて、それで、いいなと思ったのは、すぐ脇に食堂があるんです。食堂で親御さんたちが、コーヒーを飲みながら休んでいて、そしてその隣で子供たちが、滑り台とかジャングルジムとか、そういうことで、非常に元気に遊んでいたんです。やっぱり暑い日でしたから30度以上あるところですから、屋内でクーラーの効いたところでないと子供たちあんまり元気には遊べないと思うんです。だから、親御さんたちも熱中症なんてあんまり心配なくて、安心してみていることができるという事とおもしろいなあと思ったのは川口は水の文化がある地域なんです。その屋内の遊び場のわきに水遊び場というセッティングしてある。砂場があって、水道があって、ちょっとした水遊びをする道具なんか置いてあって、10人ぐらい子供たちがそこで、暑かったんですけれども、水をかぶりながら、元気に遊んで、そして、帰るときにはちゃんと着替えするコーナーがあるんです。そこで、だから、水でぬれた服なんかは帰るときに、この着替えコーナーで着替えて帰れるというところなんです。

あと小田急の廃路を利用した、ちょっとしたところなんですけども、この線路の空き地を利用して、多分線路の上に舗装かけたんだと思うんです。舗装かけて、ちょっとした石畳みたいな形でして、散策路みたいに作って周りにいっぱい木を植えたんですね。町だから木がなかったのでもっと風情を出してちょっとした小さな店がいっぱいあるんですよ。私が行ったのは平日でしたので、閑散としていました。多分土日の何かその通路でイベントをやらないと、多分、お客さんは集まらないところだなあと思って見してきました。そして図書館もありました。図書館にお酒置いてありました。お酒を飲みながら、読書ができると。ちょっとユニークだなあというふうに思ってきました。今の周辺開発でサービスエリアを検討されてますけどもその構想は、あの地域が3倍から4倍になるんです。でっかくなるんです。思い入れが大きい計画だなあというふうに思ってます。そして皆さん気がついていっているかどうかわかりませんが、何

年か前に、西側の山の斜面に木を植えた方が何人かいらっしやると思うんですけども、将来、そこで、桜の花を見るとか、紅葉をみるとかしながら、こちらのエリアでは、多分34号線とサービスエリアの間につくる予定みたいですから敷地を確保してみたいですからそこに、植えて、多分そういう花見をしながら、何か楽しめるような施設、私としては想像したということで、ちょっと研修感想を述べさせていただきました。以上です。

○高野会長 報告ということでよろしいですね。はい、その他ないですか。次回開催日程についてお願いいたします。

○地域振興課担当係長 次回の地域協議会の日程のほうをお知らせしたいと思います。次回ですが、9月につきましては、議会開催月でございますので、今回は10月24日、木曜日、午後1時30分より、本日と同じ区役所のほうの2階の大会議室での開催を予定しております。日程が確定いたしましたら、改めて開催通知を送付させていただきますので、よろしく願いしたいと思います。以上でございます。

○高野会長 今回は10月24日木曜日ですのでよろしく願いしたいというふうに思います。それでは、次に進みます。鹿島区地域協議会視察研修について、事務局より説明をお願いします。

○地域振興課担当係長

#### 《令和6年度、鹿島区地域協議会視察研修行程(案)》で説明

バス等の都合により、10月29日火曜日、10月30日水曜日、1泊2日で、工程を組ませていただいているところでございます。まず1日目につきましては、かしま交流センターのほうを、9時出発いたしまして、まず南相馬インターチェンジの方から高速に乗りまして、常磐富岡インターチェンジからあぶくま高原道路を通りまして、高原道路のほうを降りまして、石川町に、『ひとくらす』というもともと小学校だったところが、自然環境活用型地域交流施設というのにイノベーションを2021年に行いまして、そこで宿泊やいろんな学習、人が集まれるような施設をつくっております、そこが『一般社団法人ひとくらす』というところが運営しているようなところでございます。そちらのほうを見学したいということで、まず、1日目が、午後一番で、『ひとくらす』のほうを見学したいというふうに考えてございます。

次に、白河駅に行きまして、駅の利活用と中心市街地活性化ということで、こちらにつきましては、複合型施設のほうの整備等を、現在検討しているということなので、駅の中心市街地の活性化というところで見学をしたいというふうに考えてございます。それが終わりましたら、宿泊先の白河市のホテルルートイン新白河駅東を予定し

てございます。宿に着いたら散策して白河駅を見てもらってもいいのかなと思って白河駅の近くに予約しました。

二日目は8時半に宿泊先を出発しまして、いわき市の新舞子サイクルステーションで自転車のレンタル等もしているという事で休憩室等も設置しているところであります。でこちらを見学して行きたいと考えております。それが終わりましたら昼食、レストラン新舞子を予定しております。昼食後、広野町の『みかんの実北限の地』という事で広野町の庁舎の近くで山の方にみかんの木が植えられておりこれにつきましては昭和60年に町民にみかんの木を配布しつつ町の方でも海の見える高台の方にみかん畑を作って現在すくすくと育っているところなので見学をして行きたいと考えております。それが終わりましたら双葉郡の木戸駅を見て行きたいと考えております。終了後、かしま交流センター5時到着という事で提案を作成しました。

本日、この29日、30日の日程と内容について、ご検討いただいてこれで、OKをいただければ、皆様のほうに、参加、不参加のほうの案内を出しまして、あと資料等も送りますので、そちらで確認をお願いしたいと思います。それで半数以上の参加がいただけていただかないと、先進地のほうの視察研修が実施できませんので、よろしくをお願いしたいと思います。以上でございます。

- 高野会長 ありがとうございます。それではですねなかなか盛りだくさんな研修内容というふうなことでございますけども、この日程、それから内容につきまして、皆様のご発言をお願いしたいと思います。挙手の上お願いいたします。草野委員、お願いします。
- 草野(禎)委員 みかんの木って、何本ぐらい植わってて、ミカン狩りができるぐらいのレベルまで行っているのか広町の、ちょっと教えて下さい。
- 地域振興課担当係長 広野町の役所の近くに植わっているのが160本だと思ったんですけどもそれで今のいわきの高校か何処かに提供して、そこでジュース作ってるのか知ってというのはちょっと見たのでその辺もちょっと、新たな産業っていうかね、鹿島区ですと梨ジュースがあるんですけども、それはそれじゃないものもかしたら新しいのもできるかもしれないので見学していきたいなと思っておりました。160本だったと思います。
- 高野会長 よろしいですか。そうですねここにはこの当時ですね、植えた当時はミカンの北限ということで、我々もそういうふうに思っていましたけど、どんどんやっぱり気候が変わってきてましてですね、北限、ここなんじゃないかなもっと北なんじゃないかなと思いますので、いろいろね、その取り組みを視察した中で、これからの鹿島区のいろんなことに活用していきたいと思いますのでよろしくお願いします。  
その他にないですか。はい、なければ終わりになるんですけども、その他のその他

ということで、本日のない協議内容以外で何かご発言ある方。はい、鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 私はお盆に、烏崎街道通ってみました。そしたら烏崎にこういう看板立ってました。大内地区、管理、中、下とありますよね。これを鹿島区も20数年前に看板整備したことあるんですよ。ところが今、こういうふうにならなくなったんです。20年前にやったんですよ。ところが、その機能してない関係で、大内地区は自分の部落でつくったということでもあります。特に基盤整備した関係で、浜の方ほとんど看板ないですよ。基盤整備関係で、これは区役所としてきちっと整備すべきだというふうに思いますがいかがですか。

○高野会長 地域振興課長、お願いします。

○地域振興課長 今、鈴木委員おっしゃられてまして確かに至るところにこちらのほうはどちらの例えば八沢生きがいセンターですよとか北右田ですよという看板があります。今、なかなか管理ができてないという状況で昔やったままになってると思います。表示については、いろいろ検討する材料があると思ってます。すぐやりますよっていう話にはならないのかもしれませんが、鹿島にいらっしゃった方への案内ということで、必要になるのかなと思っております。貴重なご意見ですのでちょっと内部の検討の材料として、意見としていただきたいと思います。以上です。

○鈴木委員 役所には昔の台帳があったと思います。現場見ていただいて、直していただくというふうにしたほうがいいと思いますがいかがですか。

○高野会長 地域振興課長、お願いします。

○地域振興課長 多分市道敷地内にあるかと思います。そのあたりも確認をしながら台帳がどこまであるのかを確認させていただきたいと思います。以上です。

○高野会長 鈴木委員からありました提案ですね、大事なことです。費用もそんなにかからないと思いますので早急に予算をとっていただいて実施していただきたいというふうに思います。ほかに皆さんからないですか。はい、草野委員、お願いします。

○草野(禎)委員 毎回聞くんですけど、真野川サイクリングロードの利活用の進捗と、見守り活動の鹿島駅の活動もせっかくだから、地域協議会の中で共有したらどうですか

○高野会長 地域振興課長、お願いします。

○地域振興課長 サイクリングロードの件と鹿島駅の見守りの件でございます。現在途中経過ということで報告させていただきます。サイクリングロードについては、今年度イベントを考えておりますというのは、前々から言っているところでございます。市でやるイベントについては、現在委託業者がまだ決定しておりません。というのは入札が流れた経過がありまして、今月末に再度入札をかける準備をしております。それが通りましたらば、実際にイベントをやる準備を委託業者さんと協議をさせていただいて、時期を秋口と想定してたんですが、入札に遅れが生じた関係もありますので、年度内に実施したいと考えてございます。サイクリングロードの一つ、我々としては、有利な点かなと思うのは冬場でも寒いんですけど、雪が降らないので、走ることは可能かなということを実際に、体験できればなということを含めて、実際に走ってもらおうと市民の方、それから実際自転車に乗ってる方サイクルリストって言われる人達へ募集をかけて、今年は乗ってもらって、真野川サイクリングロードの良いところをきちんと発信できるような形で、進めていけるような、きっかけづくりを狙っていきなというふうに考えているところでございます。決まり次第、地域協議会の皆様にはお知らせしたいと思っております。

あと、鹿島駅の見守りでございます。こちらについては、鹿島区の青少年健全育成市民会議が、この中でも委員の皆さんの中にも入ってる方がいらっしゃいますが、9月から週2回の見守り活動をするということで現在、動いているところでございます。更に社協のボランティア連絡協議会の方や、連絡協議会の中に入っております団体の中からもご協力いただくような段取りで今、青少年健全育成市民会議が火、木、ボランティアの方が金曜日で調整をしているところでございます。そちらのほうも今週のうちに決定をするというような話を伺っておりますので、夏休み明けを目指して9月から、見守り活動ができるかなと考えております。今のところ週3日でございまずので、そのあと、週5日にするのかどうかというのは内部で検討させていただいて、まずはその2日とプラス1日でスタートしたいと考えてございます。現状については以上でございます。

○高野会長 はい、草野委員よろしいですか。はい、お願いします。

○草野(禎)委員 イベントやるのはいいんですけど、1回ぼっきりではなかなか広がらないんですね、その前に、前も言ったかもしれないですけどサイクリングロード自体がきれいじゃないといけないと思うんです。今、たまたま何かいろいろやって見える状態なんですけど、それに、綺麗にするにはそれなりのお金もかかるし手間もかかります。その辺を、見て下さいと言えないと私達も話のしようがないかなあと思うんです。その辺はどうなのかなと思います。

○高野会長 地域振興課長、お願いします。

○地域振興課長 サイクリングロードの周辺、非常に今年は暑いのもありまして、草が生えているところもあります。あと、桜田橋から下流については川の砂利の工事に伴って、若干きれいになっている部分もあったりはしております。とはいうものの道路管理の部分できちっと整備をしたいというふうに考えております。あと花の苗ですね、こちらのほう予算をとってる部分もあります。きれいに花植をしたほうがいいというふうに考えていますが、なかなか前に進まないっていうところもあるんですけども、先ほど青少年健全育成の部分もありますし、あと草野区長さんなどへご相談させていただいたところもありますが、時期を見ながら花植えの活動も声かけしながら、進めていければと思っております。

あとは、例えば自転車に限らず、ウォーキングでも歩きやすい車が来ないところもありますので、そういう団体や、いろんなところにウォーキングの何かイベントや、地域行事とかで使えないかというお話も少しずつ声をかけていって、利活用を図っていきたいと考えております。以上です。

○高野会長 よろしいですか。それでは地域振興課のほうで進めていただきますようお願いいたします。それから視察研修については日程も決まって内容については、もう1回案内が個別にあるということですか。

○地域振興課担当係長 説明足らずですいません。皆様のほうに今日をお示しました。細かい資料をつけまして、出席か欠席かの回答できるように、文書を送りますので、それは返信用の封筒で送り返していただくような形で、参加を確認したいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思います。

○高野会長 わかりました。それではですね本日の議題につきましてはすべて終了ということになります。皆様のご協力によりまして、短時間で終了することができました。ご苦労さまでした。ありがとうございました。

○地域振興課長 ありがとうございます。以上をもちまして第5回鹿島区地域協議会を終了いたします。

以上のとおり相違ありません。

会 長 高野 邦弘

会議録署名人 鎌田博信

会議録署名人 長澤初男